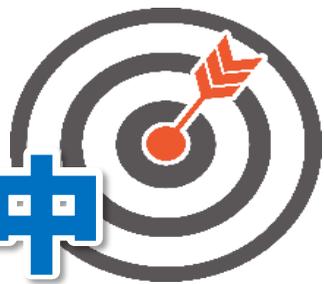


2025 ズバリ! 的中



日本史

同志社大学

鎌倉・室町時代の経済に関する問題が的中

入試問題

2月7日実施 政策・文化情報・スポーツ健康科学部 〔Ⅱ〕

〔Ⅱ〕 中世の社会や経済に関する次の文章を読んで各設問に答えよ。なお同一記号の空欄には同一語句が入る。(51点)

13世紀後半頃から、日本の農業技術は大きく発展した。畿内や西国では二毛作が普及し、多収穫米である(ア)もこの時期に大陸から移入された。

交通の要衝や荘園の中心地、寺社門前などでは、特産品や米などを定期的に売買する市が開催された。地方におけるこうした活発な経済活動の様子は、たとえば神奈川県清浄光寺所蔵の(a)に描かれた(備前国福岡の市)の場面などでうかがい知られる。

京都・奈良・鎌倉などには商人や手工業者が集まり、定期市のほかに常設の見世棚も現れた。京都・奈良では、平安時代後期頃から、神社に属する(イ)や天皇家に属する(ウ)と呼ばれる人々が特権を認められて商工業に携わっていた。彼らはやがて同業者の組合的組織である座を結成するようになった。

これに加えて、遠隔地どうしを結ぶ商業取引も盛んとなり、各地の港では運送業者の(エ)が商品の委託販売や中継を行った。荘園の一部では年貢の銭納も行われ、それには宋銭が用いられた。遠隔地間の取引には、金銭の輸送を手形で代用する為替が使われた。また高利貸しを営む(オ)が僧侶や凡下などから現れた。銭の孔に紐を通して東ねた銭縲を貸し付ける様子が(b)に描かれている。

またこの頃、荘園領主や地頭の非法に対する農民の動きが顕著となり、農民は団結して訴訟をおこしたり、逃散したりすることが多くなった。(c)国阿比河荘の農民が地頭の非道を言上した訴状は、その様子をうかがわせる貴重な史料といえる。

室町時代になると、地方の産業が大きく発展した。能登・筑前の釜、河内の鍋、備前の刀、播磨の(d)などが代表的な特産物として挙げられる。

こうした特産品を販売することや、年貢の銭納に必要な貨幣獲得などのため、地方の市もその数と市日の回数を増やしていった。

手工業者や商人の座もその種類や数が大きく増えた。(イ)・(ウ)の称号を根拠に、通行税の免除や広範囲な独占的販売権が認められて、全国的に活動をみせる座も出現した。(カ)を本所としていた灯炉(ウ)は、朝廷の権威によって通行税を免除されて全国的活動を展開した。石清水八幡宮を本所とする山城国(e)の油座では、油の販売と原料の独占権をもち商売を行った。京都では(f)の綿座(イ)、(g)の麴座(イ)などが知られる。(f)・(g)ともに御霊会が行われた神社である。

河合塾

直前講習 同志社大日本史突破テスト〔Ⅱ〕

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、空欄(a)～(i)に該当する事項をそれぞれ漢字で解答欄Ⅱ-Aに、文中の下線部ア～ケに関する各設問の解答をそれぞれ番号で解答欄Ⅱ-Bに記せ。

鎌倉時代には、農業生産力が飛躍的に高まった。鉄製農具の農村への安定的な供給や、牛や馬に(a)を牽かせて深耕する牛馬耕の導入、ア施肥技術の向上などに支えられ、畿内近国で二毛作がみられるようになったのはその一例である。また、和紙の原料となる(b)などの原料作物の栽培も盛んになり、さらに銅釜を作る(c)などの専門の手工業者も現れた。彼らが生産した商品は、近隣で開催される定期市で売買された。

『一遍上人絵伝』には、定期市である備前国(d)市の様子が描かれ、そこからは当時の市場で布・米・魚・壺などが売買されていた様子をうかがい知ることができる。また、このころには貨幣経済が浸透して、イ中国からの輸入銭が用いられ、遠隔地取引には(e)と呼ばれる為替手形が用いられるようになり、ロ大都市を拠点とする金融業者も現れた。

室町時代に入ると、二毛作は東国でもみられるようになり、畿内ではさらにエ三毛作も行われるようになった。また、稲の品種改良や中国伝来の多収穫米である(f)などの導入がすすみ、灌漑技術も向上して、農業生産力はさらに高まっていった。それとともに商品生産や売買もますます盛んになり、各地で特産品がみられるようになった。このような商品生産の拡大・安定の様子は貿易の輸出品目からもうかがうことができる。たとえば(g)国長船の刀剣は、この時期に生産が確立した特産品として有名であり、同時に日明貿易の主要な輸出品の一つとなっている。一方、カ最大の輸入品であった銅銭は、しだいに質・量ともに低下し、私鑄銭などの悪銭も多く流通するようになった。中国ではすでに銅銭の使用が禁止され供給が激減していたにもかかわらず、日本での需要は依然として高かったためである。こうした悪銭は商取引を混乱させる要因となったため、幕府や諸大名は(h)令を出し、流通の円滑化をはかった。権力による保護や規制をうけつつ、キ国内の商業・流通のネットワークはいつそうの充実をみせ、ク同業者組合である座が各地に成立し、ケ馬借・車借などの運送業者や運搬具を背負った(i)商人などの行商人たちも各地の都市の間を活発に往来するようになり、各地で市が開かれる日も増加した。

貨幣は、平安時代後期以降からの宋銭に加えて、新たに建国された明王朝が官鑄した銭が流入し使用された。明銭の中で多用されたのが明の3代皇帝時代に鑄造された銭である。15世紀後半には粗悪な銭（悪銭）が現れ、流通した。このため、商品取引や貢納にあたって、悪銭と精銭とを区別する（キ）が行われた。しかしこれによって、貨幣流通が停滞し経済が混乱することとなった。幕府や大名などは打開策として、領内における悪銭と精銭の交換比率や精銭の基準を決めるなどの方策を打ち出した。

貨幣による経済活動の活性化に伴って、（ク）と呼ばれた金融業者の活動も盛んになった。幕府は酒屋とともに、これらを保護・統制し、営業税を徴収した。直轄領からの収入が少なかったともされる幕府にとって、この営業税は重要な財源になった。

地方産業が発達すると遠隔地取引も活発になり、取引には為替手形の一つである（ケ）もさかんに用いられた。交通網が発達し、廻船の往来も頻繁になった。その繁栄を示す史料が（ハ）北関入船納帳であり、1445年1月から1446年1月までの1年間に（ヘ）津に出入りした船は、実に数千隻にのぼるとされる。一方、陸路の輸送は、馬借・車借と呼ばれた輸送業者が行い、経済交通網が形成されていった。

【設問ア～ケ】空欄（ア）～（ケ）に入る最も適切な語句を解答欄Ⅱ-Aに漢字で記せ。

【設問a～h】空欄（a）～（h）に入る最も適切な語句を次の【語群】から1つずつ選び、その番号を解答欄Ⅱ-Bに記入せよ。

【語群】

- | | | | | |
|---|------------|------------|--------|---------|
| a | 1. 天狗草紙 | 2. 一遍上人絵伝 | | |
| | 3. 男衾三郎絵巻 | 4. 信貴山縁起絵巻 | | |
| b | 1. 粉河寺縁起絵巻 | 2. 石山寺縁起絵巻 | | |
| | 3. 山王靈験記絵巻 | 4. 年中行事絵巻 | | |
| c | 1. 尾張 | 2. 伊勢 | 3. 大和 | 4. 紀伊 |
| d | 1. 杉原紙 | 2. 春慶塗 | 3. 桐生絹 | 4. 小千谷縮 |
| e | 1. 宇治 | 2. 淀 | 3. 大山崎 | 4. 尾道 |
| f | 1. 日吉社 | 2. 北野社 | 3. 祇園社 | 4. 春日社 |
| g | 1. 日吉社 | 2. 北野社 | 3. 祇園社 | 4. 春日社 |
| h | 1. 小浜 | 2. 兵庫 | 3. 淀 | 4. 三国 |

このように室町時代には農業生産や商品経済の発展がみられたが、一方で小氷期と呼ばれることもあるほど寒冷な気候が続いた時期でもあった。そのため室町時代には飢饉がたびたび起こり、農民らの一揆を誘発する一因となった。

【設問ア】草葉を地中に埋めて発酵させる肥料を選べ。

1. 下肥
2. 厩肥
3. 草木灰
4. 刈敷

【設問イ】当時、中国から輸入された宋銭を選べ。

1. 元豊通宝
2. 開元通宝
3. 洪武通宝
4. 乾元大宝

【設問ウ】鎌倉時代の金融業者である借上が描かれている絵巻物を選べ。

1. 『信貴山縁起絵巻』
2. 『松崎天神縁起絵巻』
3. 『山王靈験記絵巻』
4. 『石山寺縁起絵巻』

【設問エ】この時期の日本における三毛作の様子は、朝鮮使節の日本紀行詩文集である『老松堂日本行録』に描かれている。その著者を選べ。

1. 宗貞盛
2. 宋希璟
3. 李舜臣
4. 李成桂

【設問オ】銅銭以外の日明貿易の輸入品を選べ。

1. 硫黄
2. 漆器
3. 綿織物
4. 生糸

【設問カ】このようなネットワークの経済的価値に着目した室町幕府や寺社・公家などは、交通の要衝に関所を設置して関銭や津料を徴収し、財政基盤に組み入れようとした。東大寺が津料徴収権の一部を保持しており、1445～1446年のほぼ1年にわたる津料徴収帳簿が残っていることで知られる摂津国の港を選べ。

1. 敦賀
2. 兵庫
3. 草戸千軒
4. 十三湊

【設問キ】こうした座は朝廷や寺社などを本所と仰ぎ、その保護下で営業を行った。京都西京の麴座が本所と仰いだ寺社を選べ。

1. 北野神社
2. 祇園社
3. 興福寺
4. 石清水八幡宮

【設問ク】陸上の運送業者である馬借が描かれている絵巻物を選べ。

1. 『信貴山縁起絵巻』
2. 『松崎天神縁起絵巻』
3. 『山王靈験記絵巻』
4. 『石山寺縁起絵巻』

【設問ケ】農民らの土一揆には、幕府に徳政令発布を要求する徳政一揆があった。その1つである嘉吉の徳政一揆は、誰が次代将軍となることが決まった時に起こったか。その人物を選べ。

1. 足利義教
2. 足利義勝
3. 足利義政
4. 足利義尚